

## ベナン月例報告（2013年8月）

### 1. 内政

- 7月31日、中国の支援により建設された政府合同庁舎が完成し、ヤイ大統領及びタオ（M.TAO Weiguang）駐ベナン中国大使出席の下、引渡式が実施された。部屋数324室を備える同政府合同庁舎の総工費は、150億FCFAに上る。
- 1日、53回目の独立記念日に際し、ヤイ大統領が演説を行い、ガバナンスの改善、包括的な貧困削減の必要性を強調した。
- 5日、5月末の司法分野の人事発令に抗議し、ベナン司法官全国同盟（UNAMAB：Union Nationale des Magistrats du Bénin）が、約2か月間にわたりストライキを継続していた件に関し、UNAMAB代表団がマドゥグ（M.Reckya MADOUGOU）国璽尚書・法務・法制・人権大臣と会談した。同会談で大臣は、必要措置を早急に講じる旨約束した。
- 8日、ベナン大統領府は、ヤイ大統領が全閣僚を罷免し、新たに組閣を開始した旨通知する大統領府次官名でのコミュニケを発表した。罷免理由について、同コミュニケでは、これまでの閣僚の働きを評価する反面、新たな課題に立ち向かうべく、新内閣を発足させ、一層の弾みをつけることが必要であるためと説明されている。しかし、一部には、ヤイ大統領の後継者とも目され、8日以前に辞表を提出していたと噂されるクパキ（M.Pasacal Irénée KOUPAKI）首相の辞任を、ヤイ大統領が屈辱ととらえ、この屈辱を隠すために全閣僚の解任という措置をとった、または、ヤイ大統領が推し進める憲法改正に前向きではない閣僚を解任するためとも言われている。
- 13日、ベナン政府は、11日付大統領令をもって新閣僚を発表した。首相ポストが廃止され、13の大臣ポストに交替及び横滑りで新たな大臣が就任した。
- 15日、ベナン・カトリック教会は、ヤイ大統領に対して書簡を発出した。同書簡を通じ、カトリック教会は、ヤイ大統領の毒殺未遂や改憲賛成派・反対派の対立等、ベナンが政治・社会的な危機に陥っていることを指摘し、この危機を乗り切るために、与野党の垣根を越えた社会・政治的対話が早急を実施されることが必要である旨強調した。これに対し、カトリック教会を批判したヤイ大統領及びバコ・アリファリ（M.Nassirou BAKO-ARIFARI）外務・アフリカ統合・仏語圏・在外ベナン人大臣に世論の批判が集まる結果となった。
- 30日、ヤイ大統領は、臨時閣議において、2016年の大統領選挙には出馬しない旨宣言した。

### 2. 外政

- 15日及び16日、トラオレ（M.Dioncounda TRAORE）マリ暫定大統領がベナン

を訪問した。ヤイ大統領との首脳会談及び閣僚級会合では、マリ情勢、西アフリカ地域の治安問題、マリにおける大統領選挙、及び北部マリの選挙への参加等が議題に上った。

- ・ 15日、マーチャンダニ・アショク（M. Rochiram MIRCHANDANI ASHOK）駐ベナン・インド名誉総領事は、ベナン・インド二国間協力関係66周年記念式典を催し、インドによるウィダ（Ouidah）のトラクター組立て工場建設、中小企業支援、教育施設へのコンピューター機材供与等、近年の二国間協力関係を再確認した。
- ・ 16日、北朝鮮の朴宣春（パク・ウィチュン）外務大臣がベナンを訪問した。同大臣は、過去に北朝鮮の支援で建設されたベナン印刷・出版局（Office National d' Imprimerie et de Presse）を視察し、同印刷・出版局に対する新たな印刷機の供与を約束した。
- ・ 21日及び22日、サーリーフ（Mme. Ellen SIRLEAF）リベリア大統領がベナンを訪問した。ヤイ大統領との首脳会談では、ECOWASの枠組みで進むリベリア・ベナン二国間協力及びアフリカ諸国の開発等について意見交換が行われた。また、両大統領は、ポスト2015の開発アジェンダに関する意見交換会を行った他、農業・農村開発を目的とするポルト・ノヴォ（Porte-Novo）のNGO ソンガイ・センターを視察した。

### 3. 経済

- ・ 26日、ヤイ大統領は、綿花生産者に対するワークショップを開催し、今年の綿花生産の現状について意見交換を行った。同ワークショップでは、今年度の綿花植え付け予定面積が50万ヘクタールであったのに対し、現状34万ヘクタールに留まっていることが確認され、また、綿花生産者からは、除草剤や肥料の供給不足について不満の声が上がった。ヤイ大統領は、肥料20万トンを目安に調達する旨約束した。
- ・ 30日、約6か月にわたる鉱物資源探査が終了し、同探査を実施したオランダの地質工学コンサルティング企業フグロ（Fugro）社のバローズ（M. Darren BURROWS）商業開発部長が、ヤイ大統領に探査結果を報告した。同報告によると、北部及び中部に鉱物資源が埋蔵する可能性が高いゾーンが多数存在する由。

### 4. 開発・協力

- ・ 23日、タオ駐ベナン中国大使及びビアン（M. Jonas GBIAN）経済・財務大臣は、中国の支援で進むアカサト（Akassato）ーボイコン（Bohicon）間道路整備事業の署名式を実施した。同区間の総工費は648億FCFAに上り、今次署名式は、かかる道路の3区間の内、1区間について実施された。
- ・ 24日、ヤイ大統領は、コトヌ東岸の海岸線浸食防止工事を視察した。同計画は、

近年強い潮の流れにより浸食が進む全長7.5キロメートルの海岸線を、455億FCFAをかけて整備するもの。

- ・ 26日、2月に発生した火災により焼失したコトヌ市ベガメ（Gbégamey）地区の市場をベナン・ロータリークラブが再整備し、市場利用者への引渡式が実施された。
- ・ 28日、ヤイ大統領は、ケトゥ（Kétou）ーサヴェ（Savè）間道路整備事業に関し、同道路の建設工事を請負う予定となっているブラジル企業コンソーシアム代表と会談し、約97キロメートルに及ぶ同道路工事の迅速な開始を促した。
- ・ 28日、日本大使館は、たけし日本語学校にて日本映画上映会を実施した。

## 5. 社会

- ・ 14日、ベナン労働組合連合（CSTB : Confédération générale des travailleurs du Bénin）は、労働組合員の能力強化を目的として、同連合に加盟する各労働組合員向けに国家予算の読み方講座を実施した。
- ・ 17日、ベナン未成年者保護局（Office Central de Protection des Mineurs）は、ガボンで児童労働にあたっていたみられる7歳から16歳までの少女をベナンに護送した。

## 6. 治安

- ・ 1日、コトヌ空港で約1キロのコカインを所持し入国しようとしたナイジェリア人が逮捕された。また、8日には、別のナイジェリア人が、同じく約2キロのコカインを所持していた疑いでコトヌ空港で逮捕された。